

学力調査の結果

〈調査対象〉

小学校第6学年
中学校第3学年

〈教科に関する調査〉

主として「知識」に関する問題(国語A・算数A)
主として「知識」に関する問題(国語A・数学A)

主として「活用」に関する問題(国語B・算数B)
主として「知識」に関する問題(国語B・数学B)

理科(「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う)
理科(「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う)

国語

小学校は全体的に向上しましたが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域に課題があります。
中学校は全体的に向上し、「読むこと」の領域で全国の平均正答率を上回りましたが、「書くこと」の領域に課題があります。

算数・数学

小学校は「量と測定」「図形」の領域で全国の平均正答率を上回りました。
中学校は全体的に向上が見られ、「図形」「関数」「資料の活用」で全国の平均正答率を上回りました。

理科

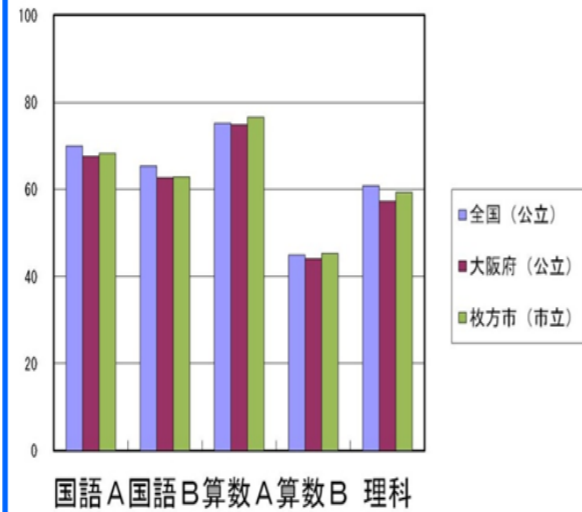
小学校は「物質」「生命」の区分に課題があります。
中学校は「生物的領域」「地学的領域」に課題があります。

〈無解答率について〉

小学校は算数A・Bで向上しましたが、国語Bに課題があります。中学校は国語A、数学Aで向上しました。小中学校とも理科に課題があります。

小学校

全国学力・学習状況調査(小学校)



国語A(知識)

全国の平均正答率を下回っているが、大阪府の平均正答率は上回っている。

国語B(活用)

全国の平均正答率を下回っているが、大阪府の平均正答率は上回っている。

算数A(知識)

全国及び大阪府の平均正答率を上回っている。

算数B(活用)

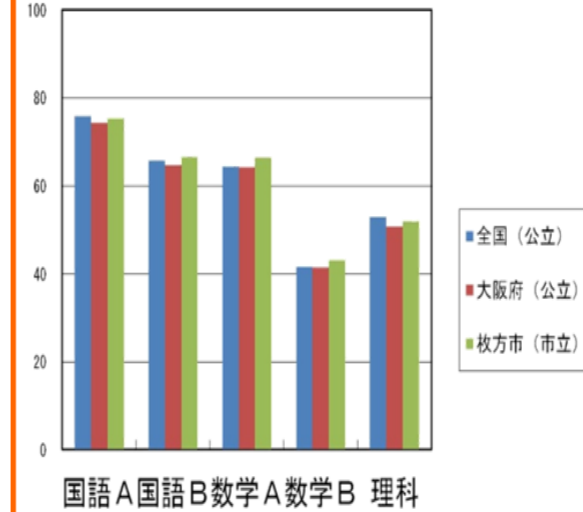
全国及び大阪府の平均正答率を上回っている。

理科

全国の平均正答率を下回っているが、大阪府の平均正答率は上回っている。

中学校

全国学力・学習状況調査(中学校)



国語A(知識)

全国の平均正答率を下回っているが、大阪府の平均正答率は上回っている。

国語B(活用)

全国及び大阪府の平均正答率を上回っている。

数学A(知識)

全国及び大阪府の平均正答率を上回っている。

数学B(活用)

全国及び大阪府の平均正答率を上回っている。

理科

全国の平均正答率を下回っているが、大阪府の平均正答率は上回っている。

質問紙調査の結果

児童・生徒質問紙調査の結果の特徴的な内容についてお知らせします。

- 「朝食を食べている」は、小学校で肯定的な回答(※)が減少し、中学校で増加している。
- 「家で自分で計画を立てて勉強している」は、小中学校で肯定的な回答(※)が増加している。
- 学校の授業時間以外に「読書をする時間」は小学校では減少しているが、中学校で増加している。
- 「学校のきまり・規則を守っている」は、肯定的な回答(※)が小学校では減少しているが、中学校では増加している。

※ 肯定的な回答: 「している・当てはまる」と、「どちらかといえばしている・当てはまる」の合計

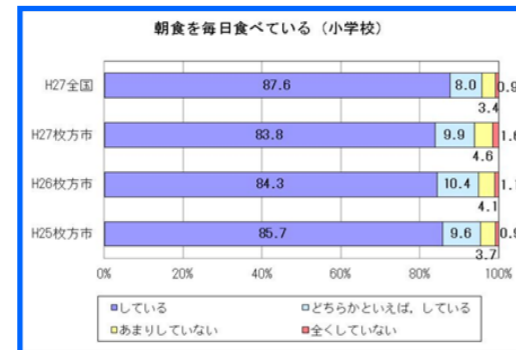


〈児童・生徒質問紙調査〉

児童・生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

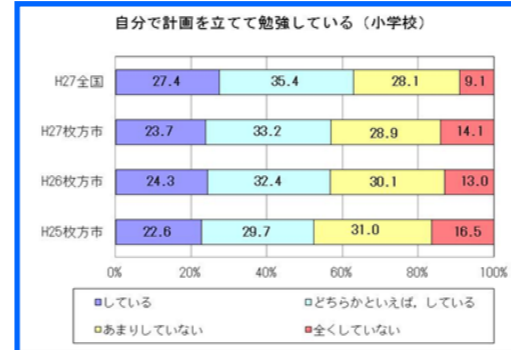
朝食を毎日食べている

【小学校】



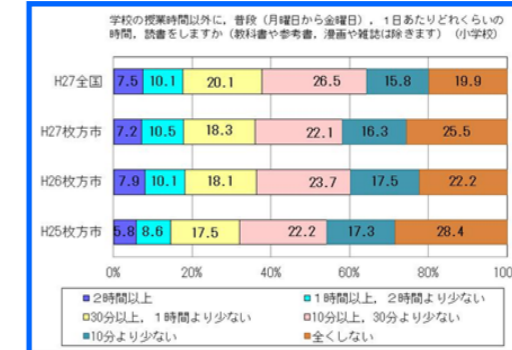
家で自分で計画を立てて勉強している

【小学校】



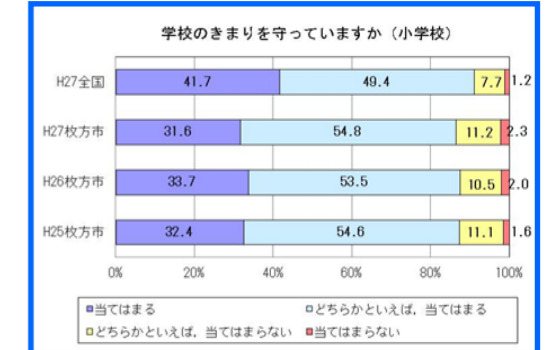
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をするか

【小学校】

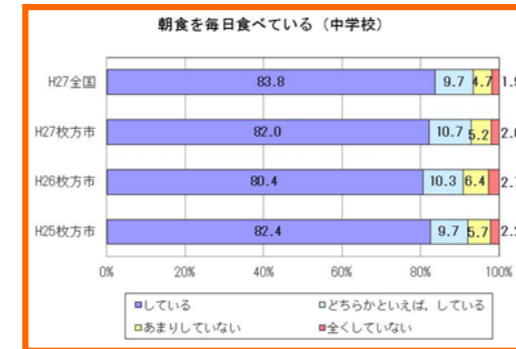


学校のきまり・規則を守っている

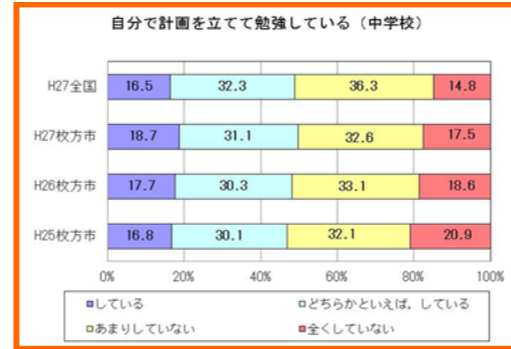
【小学校】



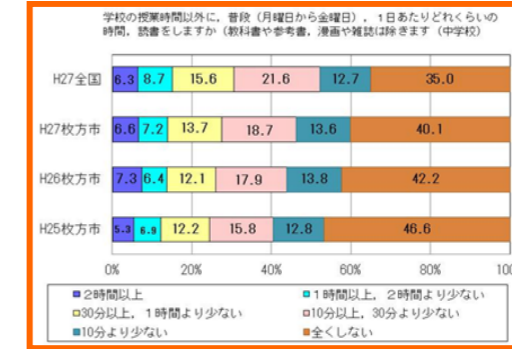
【中学校】



【中学校】



【中学校】



【中学校】

